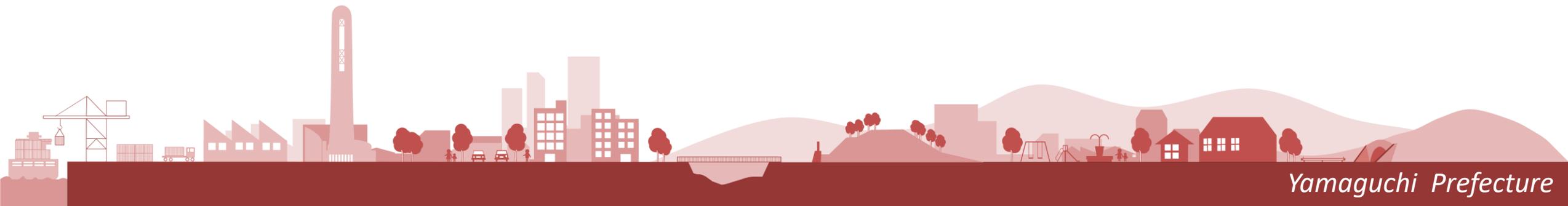


「やまぐち未来維新プラン」に おける山口きらら博記念公園 での取組

山口県土木建築部都市計画課 主査 石田 純一



● 性格と役割

- やまぐち未来維新プランは、新たな県政運営の方針として、今後、県が進める政策の基本的な方向をまとめた総合計画
- 本県が目指す県づくりの方向性を、市町、関係団体、企業・大学等、そして県民の皆様と共有し、共に取り組んでいくための指針
- スピード感を持って施策を推進し、県民の皆様が安心して、未来に希望を持って暮らせる活力に満ちた山口県の実現に取り組む

● 計画期間

- 2022年度～2026年度（5年間）

● 全体構成

第1章

はじめに

第5章

重点的な施策の推進

第2章

山口県の現状を見る

第6章

持続可能な行財政基盤の確立

第3章

県づくりの推進方向

第7章

施策の総合的な推進

第4章

直面するコロナの危機の克服

第8章

プランの着実な推進

● 県づくりの基本目標

・「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現

人口減少・少子高齢化社会にあっても、活力に満ちた産業や、にぎわいに溢れ、安心・安全で持続可能性を備えた地域社会の中で、県民誰もが、山口ならではの豊かさと幸福を感じながら、未来に希望を持って暮らせる「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現を私たちは目指します。

《基本方針》 「3つの維新」のさらなる進化

[3つの維新]

さらなる進化

産業維新

大交流維新

生活維新

4つの視点

-  安心・安全
-  デジタル(未来技術)
-  グリーン(脱炭素)
-  ヒューマン
(人づくり・新たな人の流れ)



安心して希望と活力に満ちた山口県

プロジェクトや重点施策を未来志向で再構築

● ヒューマン（人づくり、新たな人の流れ）

- コロナ禍において、スポーツをはじめ、文化・芸術、県民活動など様々なぶんやにおけるリアルでの活動が低調になり、人間関係の希薄化が懸念されています。
- こうした活動を通じた人と人とのつながりは、生活に張り合いや潤いをもたらすだけでなく、周囲の人にも好影響を与え、ひいては地域の活力にもつながる重要なものです。
- 子どもや若者、高齢者や障害者など、全ての県民がリアルでの活動・交流を通じて山口で暮らすことの価値を実感し、新たな活力が生まれる場を創出していく必要があります。

● ヒューマン（人づくり、新たな人の流れ）

● 大交流維新

- 山口きらら博記念公園を拠点として、幅広い世代が集い、スポーツや文化・芸術、県民活動など様々な交流を通じて、県民誰もが「山口で暮らすことの価値」を実感し、新たな活力を創出・発信する取組を進めます。

高いポテンシャルを有する山口きらら博記念公園

現状



海に面した絶好のロケーション



多目的ドーム



大規模な駐車場



広大な芝生広場



屋内水泳プール

重点施策

【21】

**山口きらら博記念公園を拠点とした県民の活力の
創出・発信****→ イベント等による交流の拡大**

- **山口きらら博記念公園**の持つポテンシャルを活かし、すべての県民を主役とする県民活動・スポーツ・文化をはじめとする様々な分野のイベントを、年間を通じて開催
- **山口きらら博記念公園活性化協議会**を核とするシンボルイベントの開催
- 全国から集客できる大規模イベントを山口きらら博記念公園に誘致
- 山口きらら博記念公園を拠点として創出・発信される県民の活力を、県内に広く波及させるための取組を推進

→ 交流の拠点となる山口きらら博記念公園の整備

- 山口きらら博記念公園が、幅広い世代の県民が集い、交流し、県民の活力を創出・発信するにふさわしい拠点となるよう、交流拠点施設としての整備を推進

イベント「ゆめ花マルシェ」の開催



花博の翌年ということもあり、
コンテンツも来場者も
賑わい大盛況でした。

2019年（令和元年）
10/11（金）～14（月・祝）
4日間
65,000人



2020年（令和2年）
10/10（土）～11（日）
2日間
6,500人

2020
未曾有のコロナ禍においても徹底
的な感染対策を施し、先進的に
チャレンジ。新たな日常における
公園の魅力や可能性を提唱しました。



ゆめ花 マルシェ



2021年（令和3年）
10/9（土）～10（日）
2日間
15,200人

2022年（令和4年）
10/8（土）～9（日）
2日間
22,300人



直前の大型フェスが中止になり、
開催が危ぶまれましたが、奇跡的な
感染状況の改善もあって無事開催。
PR期間もない中で来場者と関係者
一同に沢山の笑顔の花が開きました。



ゆめはな花壇づくりにおいて県内企業とのパート
ナーシップを試み、またインクルーシブパークの
社会実験を同時開催。前年度より多くの団体が
参画し、コンテンツも充実。企業や地域、行政、
団体と連携・協働を図り、子供と社会を結ぶ
機会を創出しました。



「山口きらら博記念公園活性化協議会」主催
花や緑、音楽やアクティビティなど
コロナ禍でも毎年10月に開催！

新 豊かに生きる「くらし」「アソビ」「ツナガル」公園創出事業（35,689千円）

～イベント「ゆめ花マルシェ」で交流を拡大～

山口きらら博記念公園活性化協議会を核とするシンボルイベントを開催し、県民活力の創出・発信を図るとともに、県民活力を県内に広く波及させる取組を推進します。

◎シンボルイベントの開催に向けた取組

- コンセプト等に関し、専門家の意見を聴取するとともに、県民参加の構想検討ワークショップを開催
- 県民の中にあるコンテンツホルダーの発掘

◎イベント「ゆめ花マルシェ」の開催

- 花や緑、音楽やアクティビティなど様々な分野のコンテンツを展開
- 季節に応じた各種イベントの開催



新 山口きらら博記念公園交流拠点化事業 (111,773千円)

～交流拠点にふさわしい施設整備を推進～

山口きらら博記念公園の持つポテンシャルを活かし、幅広い世代の県民が集い、交流し、県民の活力を創出・発信するにふさわしい交流拠点施設としての整備を推進します。

◎交流拠点化に向け新たに基本構想を策定

- サウンディング調査の実施
- 公園における宿泊利用、モビリティ導入及び自転車利用等の社会実験や通信環境の整備



● 生活維新

- ・豊かで利便性に優れた暮らしづくり推進プロジェクト

現状と課題

- ・障害の有無にかかわらず公園を訪れる誰もが、共に遊び、学ぶことができる「インクルーシブパーク」の整備が必要



重点施策【45】 快適で住みやすい生活環境づくりの推進

→ 「みんなの公園」の新たな利活用による活力の創出

- 子どもから高齢者まで、障害の有無等に関わらず誰もが集い、語り、新たな繋がりを創り出す「みんなの公園」の整備推進
- 公園内でも安全に自転車に乗れる環境の創出など、公園の新たな魅力の創出
- 地域や教育施設、民間企業と連携した花壇整備や森づくりの展開



山口きらら博記念公園内での自転車体験



R4みんなのゆめはな花壇づくり事業

実施期間

・令和5年2月18日（土）～3月26日（日）

実施内容

仮設ミニBMXコース

10:00～16:00
(土・日・祝のみ)



BMXやマウンテンバイクの利用可能
山口県自転車競技連盟の協力により
2月18日にイベントを開催
(レース大会、体験会)



BMX
マウンテンバイク

2050年の森・大芝生広場

自転車乗り入れ禁止ルールを緩和
舗装部での自転車通行可能!!



公園でサイクリング

(実証
○自
○新?
<2050
○自
○子
<仮設ミ
○雨:
○仮
○防!
○管
の)

正実験における注意事項)

・山口きらら博記念公園年間利用者数
令和3年度 16万人 → 令和8年度 80万人

山口きらら博記念公園の有するポテンシャルを活かし、幅広い世代が集い、伸び伸びと活動する中で、山口の豊かさや住みよさを実感できる「交流拠点」と、県外の人に山口の魅力を感じ訪れてもらう、優れたアウトドアフィールドとしての「集客拠点」との両面から再整備を行っていきます。

ご清聴ありがとうございました